

首都圏で愛知の観光物産展が開催されました

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

2025年1月18日（土）と19日（日）の2日間、神奈川県横浜市のクイーンズスクエア横浜で愛知の観光物産展「こってりだけじゃない！ディスカバー愛知フェア」（主催：愛知県観光コンベンション局観光振興課）が開催されました。

当グループは、本県産農産物の需要拡大のため、「愛知県農産物需要拡大推進協議会」（構成：本県、JAあいち経済連）の出展ブースを設けました。

1 多彩なイベントを実施、多くの人々が来場

本イベントは、県外の方々に向けて本県の多彩な食と観光の魅力をPRし、誘客を促すことを目的に関西圏と首都圏で毎年開催されています。今回の首都圏会場では、29の事業者・団体が出展し、本県の物産販売（ミニトマトなどの青果物、きしめん製品や八丁味噌などの加工食品）、観光PR（ポスター掲示、パンフレット配布）が行われました。

初日には大村知事がステージで挨拶し、本県の魅力を来場者にPRしました。また、2日間に渡り、ステージでは「徳川家康と服部半蔵忍者隊」、「名古屋おもてなし武将隊」、「PRINCESS SAMURAI of JAPAN あいち戦国姫隊」のパフォーマンス、ご当地キャラクター「はち丸」（名古屋市）、「あさぴー」（尾張旭市）、「まーちゃ」（西尾市）などによる観光PR、会場内では参加者に賞品をプレゼントするクイズラリー抽選会などが行われ、大人から子供まで多くの来場者で賑わいました。

2 出展ブースでは本県産農産物を紹介・販売

「愛知県農産物需要拡大推進協議会」は、おおば、なす（輝（かがやき）なす）、にんじん（へきなん美人）、うずら卵燻製（味噌味、醤油味）を紹介・販売しました。購入者からは、「こんなにツヤのあるなすを初めて見た」、「へきなん美人が甘いを知っている」などの声が聞かれ、本県産農産物について認知度拡大を図るとともに、首都圏で認知度が一定の水準にあることも確認できました。

今後も、愛知県産農産物の首都圏での消費拡大を目指し、様々なプロモーション活動を展開していきます。



多くの来場者で賑わう会場



ステージに登壇した大村知事（中央）



服部半蔵忍者隊などのパフォーマンス



愛知県農産物需要拡大推進協議会のブース